



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	128,660	11.9	19,449	20.7	20,592	42.5	14,504	72.8
27年3月期第1四半期	114,945	3.5	16,114	20.9	14,449	11.7	8,394	△6.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 23,150百万円 (522.7%) 27年3月期第1四半期 3,717百万円 (△86.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	38.29	35.83
27年3月期第1四半期	22.11	22.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	983,018	588,340	59.8	1,552.52
27年3月期	992,073	573,523	57.8	1,513.73

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 588,140百万円 27年3月期 573,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	14.50	ー	16.00	30.50
28年3月期	ー				
28年3月期(予想)		16.00	ー	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250,000	7.2	31,000	△6.0	29,500	△13.3	17,500	△20.0	46.09
通期	520,000	6.2	70,000	3.8	67,000	△5.3	39,500	2.7	104.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート：1ドル=120円、1ユーロ=130円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	379,760,520株	27年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	931,760株	27年3月期	931,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	378,828,928株	27年3月期1Q	379,746,356株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)における市場を概観すれば、海外では、米国で大手医療保険会社間での再編や、医療保険制度改革に基づく保険加入への補助金支給に対し、連邦最高裁が合法判決を下すなど、事業環境の変化が続きました。欧州では、ギリシャ財政問題による域内マクロ経済への波及が懸念されました。国内では日本医療研究開発機構が4月より発足し、医療分野の研究開発及び環境整備の中核的役割を担う活動が始まりました。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に持続的かつ収益性のある成長を目指して経営を推進しております。

各カンパニーにおける主なポイントは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、海外のカテーテル (IS) 事業やニューロバスキュラー (脳血管) 事業が堅調に推移しました。前年度に欧州、アジア、中南米で販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」は、いずれの地域でも順調に売上を伸ばしました。
- ホスピタルカンパニーは、ドラッグ&デバイス (D&D) 事業、DM事業など高収益な事業の拡大によるポートフォリオの再編を推進し、収益性の改善に努めました。
- 血液システムカンパニーは、米国における価格圧力など、厳しい市場環境に対応しながら、アフレスシス治療分野や細胞増殖システムを拡大するとともに、新興国を中心に成分採血システムの売上を伸ばしました。

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比11.9%増の1,287億円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	114,945	128,660	11.9	5.3
売上総利益	60,706	69,047	13.7	7.4
営業利益	16,114	19,449	20.7	18.4
経常利益	14,449	20,592	42.5	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,394	14,504	72.8	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	43,414	43,986	1.3	1.3
欧州	26,033	25,868	△0.6	1.7
米州	28,403	35,854	26.2	7.1
アジア他	17,094	22,951	34.3	17.8
海外計	71,531	84,673	18.4	7.7
合計	114,945	128,660	11.9	5.3

国内では、ホスピタルカンパニーにおいて、前年度の消費税増税や医療機関の機能分化など、市場環境の変化に伴う需要の減速にも回復傾向が見られ、前年同期比1.3%増の440億円となりました。海外では欧米及びアジアのIS事業とニューロバスキュラー事業の大幅な伸長や、血液システムカンパニーの売上拡大により、前年同期比18.4%増の847億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、主に海外で高付加価値製品の売上が拡大したことにより、前年同期比13.7%増の690億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を上回ったことにより、前年同期比20.7%増の194億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加と円安による為替差益もあり、前年同期比42.5%増の206億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失の減少に加えて、税制改正及び過年度税額の修正による法人税負担率の減少により、前年同期比72.8%増の145億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	53,480	63,195	18.2	8.8
	(国内)	11,756	11,317	△3.7	△3.7
	(海外)	41,723	51,877	24.3	12.4
ホスピタルカンパニー	売上高	38,005	39,484	3.9	1.8
	(国内)	28,916	30,159	4.3	4.3
	(海外)	9,088	9,325	2.6	△6.3
血液システムカンパニー	売上高	23,459	25,980	10.7	3.0
	(国内)	2,740	2,509	△8.4	△8.4
	(海外)	20,718	23,471	13.3	4.5

<心臓血管カンパニー>

国内では、IS事業において、市場及び競合環境の一時的な変化に伴い、冠動脈及び末梢動脈疾患用ステントの売上が減少し、前年同期比3.7%の減収となりました。海外では、IS事業が注力しているTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）関連製品の拡大に加え、薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」も欧州他で堅調に推移しました。ニューロバスキュラー事業は各地域で大きく売上を伸ばしました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比18.2%増の632億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

国内では、輸液システムや血糖測定システムなど高付加価値製品の拡大もあり、前年同期比4.3%の増収となりました。海外では、ポートフォリオの再編により高付加価値製品の拡大に努め、前年同期比2.6%の増収となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.9%増の395億円となりました。

<血液システムカンパニー>

国内では、献血数減少の傾向が続く中、血液バッグなど採血時に使用される製品の需要にも影響があり、減収となりました。一方、海外ではアフエレス治療分野と細胞増殖システムの拡大に加え、新興国を中心に成分採血システムが堅調に推移しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比10.7%増の260億円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ91億円減少して9,830億円となりました。

流動資産は現金及び預金の減少等により、119億円減少して4,006億円となりました。

固定資産は22億円増加して5,781億円となりました。有形固定資産は29億円増加、無形固定資産は22億円減少、投資その他の資産は15億円増加となりました。

（負債）

負債の部は239億円減少して3,947億円となりました。

流動負債は未払法人税等の支払による減少等により、266億円減少して1,033億円となりました。

固定負債は長期借入金の増加等により、28億円増加して2,914億円となりました。

（純資産）

純資産の部は、148億円増加して5,883億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.0ポイント増加し、59.8%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

医療機器を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が予測されますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような事業環境の中、目標を達成するため、医療の安全性や効率性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入及び拡大、さらなる製造原価の改善への取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん3,135百万円及び資本剰余金1,175百万円が減少するとともに、利益剰余金が1,220百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ48百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,679	124,993
受取手形及び売掛金	104,944	103,857
有価証券	50,000	45,000
たな卸資産	101,472	103,948
繰延税金資産	13,949	12,428
その他	13,871	11,883
貸倒引当金	△1,458	△1,526
流動資産合計	412,458	400,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,783	62,853
機械装置及び運搬具（純額）	45,616	50,036
土地	22,023	23,970
リース資産（純額）	895	867
建設仮勘定	39,029	33,451
その他（純額）	10,147	10,237
有形固定資産合計	178,496	181,416
無形固定資産		
のれん	166,990	164,046
顧客関連資産	103,217	103,541
その他	61,781	62,218
無形固定資産合計	331,990	329,806
投資その他の資産		
投資有価証券	45,461	46,943
繰延税金資産	259	189
退職給付に係る資産	6,786	6,507
その他	12,847	13,185
投資その他の資産合計	65,355	66,826
固定資産合計	575,842	578,050
繰延資産		
繰延資産合計	3,772	4,383
資産合計	992,073	983,018

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,484	34,516
短期借入金	364	371
1年内返済予定の長期借入金	5,417	5,515
リース債務	208	189
未払法人税等	19,714	4,960
繰延税金負債	105	66
賞与引当金	5,560	2,714
役員賞与引当金	142	35
設備関係支払手形及び未払金	8,667	6,839
その他	51,282	48,113
流動負債合計	129,947	103,321
固定負債		
社債	40,000	40,000
転換社債型新株予約権付社債	100,233	100,221
長期借入金	79,141	81,203
リース債務	278	236
繰延税金負債	50,013	49,908
役員退職慰労引当金	66	66
退職給付に係る負債	7,020	7,400
資産除去債務	233	234
その他	11,615	12,083
固定負債合計	288,602	291,356
負債合計	418,550	394,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	50,928
利益剰余金	383,317	390,540
自己株式	△3,035	△3,036
株主資本合計	471,102	477,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,910	17,168
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	89,043	97,342
退職給付に係る調整累計額	△3,611	△3,526
その他の包括利益累計額合計	102,341	110,991
新株予約権	78	97
非支配株主持分	—	103
純資産合計	573,523	588,340
負債純資産合計	992,073	983,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	114,945	128,660
売上原価	54,238	59,612
売上総利益	60,706	69,047
販売費及び一般管理費	44,591	49,598
営業利益	16,114	19,449
営業外収益		
受取利息	124	203
受取配当金	64	108
受取ロイヤリティー	17	20
為替差益	—	1,755
持分法による投資利益	24	—
その他	154	198
営業外収益合計	385	2,286
営業外費用		
支払利息	300	373
売上割引	172	104
為替差損	773	—
持分法による投資損失	—	19
たな卸資産処分損	185	31
その他	618	614
営業外費用合計	2,050	1,143
経常利益	14,449	20,592
特別利益		
固定資産売却益	16	394
特別利益合計	16	394
特別損失		
固定資産処分損	331	4
減損損失	369	350
特別損失合計	700	354
税金等調整前四半期純利益	13,765	20,632
法人税、住民税及び事業税	2,632	5,719
法人税等調整額	2,738	411
法人税等合計	5,371	6,130
四半期純利益	8,394	14,502
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,394	14,504

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
四半期純利益	8,394	14,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	954	258
繰延ヘッジ損益	4	5
為替換算調整勘定	△5,473	8,299
退職給付に係る調整額	△161	85
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△4,676	8,648
四半期包括利益	3,717	23,150
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,717	23,152
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,480	38,005	23,459	114,945	—	114,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	53,480	38,005	23,459	114,945	—	114,945
のれん等償却除くセグ メント利益	11,405	4,570	4,227	20,204	41	20,246
セグメント利益	10,979	4,570	522	16,073	41	16,114
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	21.3	12.0	18.0	17.6	—	17.6

(注) 1. セグメント利益の調整額41百万円には、たな卸資産の調整額△20百万円、その他61百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) においては369百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,195	39,484	25,980	128,660	—	128,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	63,195	39,484	25,980	128,660	—	128,660
のれん等償却除くセグ メント利益	14,112	5,602	5,395	25,110	△571	24,539
セグメント利益	13,659	5,602	758	20,020	△571	19,449
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	22.3	14.2	20.8	19.5	—	19.1

(注) 1. セグメント利益の調整額△571百万円には、たな卸資産の調整額△764百万円、その他193百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) においては350百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、海外子会社の業績管理区分を一部見直したため、平成26年10月1日より、連結子会社であるハーベストテクノロジーズCorp. およびハーベストテクノロジーズGmbHに係る収支を、従来の「心臓血管カンパニー」から「血液システムカンパニー」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当該変更を反映したものを開示しております。